

品種	月旬	5			6			7			8			9			10		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬

品種	作業	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期		
		播種	元肥	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。	代かき	坪60株、2〜3本植	茎数の確保	茎数16〜18本で開始	飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	
水管理	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	

品種	作業	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期		
		播種	元肥	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。	代かき	坪50株、2〜3本植	茎数の確保	茎数16〜18本で開始	飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	
水管理	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	

品種	作業	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期		
		播種	元肥	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
		播種	代かき	田植え	追肥	中干し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。	代かき	坪60株、2〜3本植	茎数の確保	茎数16〜18本で開始	飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	飽水管理	
水管理	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	

病害虫	葉いもち病		穂いもち病		紋枯病		カメムシによる着色粒		坪枯れ		水田雑草		ホタルイ		クログワイ		キシウズズメノヒエ		クサネム	

箱施用剤	使用時期	病害虫名	使用薬剤名	使用量
	田植3日前 田植当日	いもち病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、ウナカゴ、イネナツトムシ、内穎褐変病	Dr.オリゼプリンス 粒剤10	1箱当り 50g
田植3日前 田植当日	いもち病、イネミズゾウムシ、ウナカゴ、ツマグロヨコバイ	デジタルコラトップアクタラ 箱粒剤	1箱当り 50g	

粉剤防除	使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
	出穂20日前	紋枯病、コブノメイガ、イネナツトムシ、ツマグロヨコバイ、ウナカゴ、カメムシ類	ラテラワイド 粉剤DL	ロムダンモンカットF 粉剤DL	4kg
出穂直前(収穫14日前まで)	いもち病・紋枯病、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、カメムシ類、イネナツトムシ	ラテラワイド 粉剤DL	トレボン粉剤DL	4kg	

粒剤防除	使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
	出穂20日前	紋枯病、コブノメイガ、イネナツトムシ	ルーバンリンパー 粒剤		3kg
出穂10日前(収穫35日前まで)	いもち病・紋枯病、穂枯れ(ごま葉枯病)、ツマグロヨコバイ、ウナカゴ類、カメムシ類	イモチエーススター 粒剤		3kg	

品質向上のポイント	◎窒素(タンパク質)含有率を抑える	●施肥基準に準じた適正な施肥量を施用し、多肥はつむむ。	●出穂期以降の追肥は絶対に行わない。
	◎こまめな水管理	●飽水管理を行ない、水をためたまにしない。	●出穂後の水不足や早期落水をさけ、粒の充実を図る。
◎適期刈り取り	●早刈り・刈り取り遅れに注意する。		
◎ていねいな乾燥・調整	●高温乾燥・過乾燥・急速乾燥に注意する。(14.5%~15.0%)	●むれ米に注意する。	●ライスグレーダーの調整を行い、屑米・被害粒を完全に選別。

倒伏防止対策	①健苗の植付け、適正な植付密度、施肥管理、水管理により過繁茂を防止、太茎にするとともに、株間の通風と採光を良くする。
	②節間伸長期(出穂25日前以降)に窒素を効かせすぎないようにする。

斑点米対策	(カメムシ防除が斑点米の発生を防ぎます)
	①水田周辺(農道・畦畔・休耕田等)の雑草を出穂の2週間前までに刈り取って下さい。

土づくり資材	資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
	地力アップ	アルカリ分 45% 珪酸 25% 苦土 3% リン酸 3%	200kg

土づくり資材	資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
	とれ太郎	アルカリ分 40% 珪酸 30% 苦土 12% リン酸 6%	60kg

土づくり資材	資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
	アヅミン	腐植酸 約50% 苦土 10%	40kg

土づくり資材	資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
	リンスター30	リン酸 30% 苦土 8%	40kg

施肥基準

品種	ヒノヒカリ (単位: 10a当りkg)					山田錦 (単位: 10a当りkg)					キヌヒカリ (単位: 10a当りkg)				
	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥	穂肥	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥	穂肥	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥	穂肥
分肥体系	JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30			山田錦化成 12-14-16	20	20			JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30		
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20	
省力体系	かん太郎有機 12-6-12	30			30	穂肥有機 12-4-14	20		10	10	かん太郎有機 12-6-12	25		25	3.0 1.5 3.0
	エムコート045 20-14-15	40	40			セラコートR555 15-15-15	30	30			LPSS特2号 14-14-14	50	50		7.0 7.0 7.0